



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社ストライダーズ 上場取引所 東
 コード番号 9816 URL <http://www.striders.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 兼 CFO (氏名) 若原 義之 TEL 03 (5777) 1891
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,658	10.1	67	△46.1	73	△37.1	54	△34.9
29年3月期第1四半期	1,506	33.5	125	76.6	116	48.9	84	45.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 56百万円 (△26.2%) 29年3月期第1四半期 77百万円 (119.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.62	0.62
29年3月期第1四半期	0.95	0.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	4,016	1,955	48.5	21.94
29年3月期	3,891	1,898	48.6	21.30

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,949百万円 29年3月期 1,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	5.2	310	11.0	310	5.8	200	△12.7	22.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社の業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成しておりません。

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であり、平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	88,870,896株	29年3月期	88,870,896株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	26,098株	29年3月期	26,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	88,844,798株	29年3月期1Q	88,704,798株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の連結業績予想について）

当社は、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会において、株式併合に係る議案が承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想は以下のとおりとなります。

平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 2円25銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上、雇用環境の改善や個人消費の増加等により緩やかな回復基調にあります。

一方、海外におきましては中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化や、米国のトランプ政策の動向など、海外経済の先行き不透明感は依然続いております。

このような経済状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、既存事業において新規顧客獲得に向けた営業活動や経費削減等に取り組み利益増大を図る一方、新たな事業の創出に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高1,658百万円(前年同四半期比10.1%増)、営業利益67百万円(前年同四半期比46.1%減)、経常利益73百万円(前年同四半期比37.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益54百万円(前年同四半期比34.9%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①IT関連事業

IT関連事業につきましては、モバイルリンク株式会社において、車載端末システムの販売に注力するとともに、台湾における合弁会社において、自社ブランドの車載器の開発に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のIT関連事業の売上高は60百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業利益は0百万円(前年同四半期は営業損失3百万円)となりました。

②企業再生再編事業

企業再生再編事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において、資金調達支援、M&Aに関するコンサルティング業務等に取り組んでまいりましたが、当第1四半期連結累計期間中に案件を受注することができませんでした。

この結果、売上は計上されておらず、営業損失0百万円となりました。なお、前年同四半期は、売上高は24百万円、営業利益23百万円でありました。

③不動産賃貸管理事業

不動産賃貸管理事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいて、レジデンス事業における積極的な営業活動により管理物件の戸数が増加し、また、不動産売買事業も好調に推移いたしました。規模拡大に伴い人件費等が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の不動産賃貸管理事業の売上高は1,193百万円(前年同四半期比21.9%増)、営業利益は53百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

④食品関連事業

食品関連事業につきましては、有限会社増田製麺において、神奈川エリアにおける横浜家系ラーメンを中心に中華麺等の製造販売を行っております。既存ラーメン店の店舗拡大等により受注高は微増いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の食品関連事業の売上高は41百万円(前年同四半期比1.5%増)、営業利益は4百万円(前年同四半期比14.6%増)となりました。

⑤ホテル関連事業

ホテル関連事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。訪日外国人数は増加しているものの民泊の増加や新規ホテルのオープンなどにより、宿泊単価、稼働率ともに低下しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のホテル関連事業の売上高は363百万円(前年同四半期比10.5%減)、営業利益53百万円(前年同四半期比36.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,218百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が88百万円、たな卸資産が82百万円増加したものの、売掛金が22百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,798百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が15百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,016百万円となり、前連結会計年度末に比べ125百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は870百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が33百万円、前受収益が20百万円、未払費用が16百万円増加したものの、賞与引当金が15百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,191百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が25百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,061百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益54百万円を計上したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は48.5%（前連結会計年度末は48.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,536,880	1,625,444
売掛金(純額)	126,757	104,043
有価証券	15,541	10,911
たな卸資産	316,409	399,270
繰延税金資産	16,000	16,000
その他	139,479	62,579
流動資産合計	2,151,067	2,218,249
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	883,211	873,594
土地	348,663	348,663
その他(純額)	41,932	41,922
有形固定資産合計	1,273,807	1,264,180
無形固定資産		
のれん	182,638	176,126
その他	22,695	21,342
無形固定資産合計	205,333	197,468
投資その他の資産		
投資有価証券	49,588	64,936
関係会社株式	82,671	85,783
繰延税金資産	68,693	71,807
その他	60,282	114,362
投資その他の資産合計	261,235	336,891
固定資産合計	1,740,376	1,798,540
資産合計	3,891,444	4,016,790
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,120	78,092
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	166,108	199,440
前受収益	119,734	140,159
未払費用	84,261	100,568
未払金	85,482	76,832
未払法人税等	23,206	22,858
賞与引当金	28,606	12,765
預り金	92,383	100,862
金利スワップ	33,049	31,372
その他	56,968	57,238
流動負債合計	825,922	870,189
固定負債		
長期借入金	733,712	758,853
退職給付に係る負債	10,025	10,526
長期預り敷金保証金	240,135	237,930
繰延税金負債	183,053	183,730
固定負債合計	1,166,926	1,191,040
負債合計	1,992,848	2,061,230

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,582,416	1,582,416
資本剰余金	270,961	97,693
利益剰余金	68,359	296,559
自己株式	△3,020	△3,020
株主資本合計	1,918,716	1,973,648
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,641	4,238
繰延ヘッジ損益	△33,049	△30,564
為替換算調整勘定	2,279	2,213
その他の包括利益累計額合計	△26,129	△24,111
新株予約権	5,415	5,415
非支配株主持分	593	607
純資産合計	1,898,595	1,955,559
負債純資産合計	3,891,444	4,016,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,506,078	1,658,390
売上原価	950,528	1,151,204
売上総利益	555,549	507,185
販売費及び一般管理費	430,273	439,702
営業利益	125,275	67,483
営業外収益		
受取利息	188	674
受取配当金	214	104
有価証券評価益	—	565
有価証券売却益	426	331
受取手数料	3,375	6,357
受取事務手数料	1,050	—
その他	1,562	2,393
営業外収益合計	6,817	10,427
営業外費用		
支払利息	4,734	3,540
有価証券評価損	5,619	—
持分法による投資損失	1,084	853
為替差損	3,479	—
その他	371	92
営業外費用合計	15,289	4,485
経常利益	116,803	73,425
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,632
特別利益合計	—	2,632
税金等調整前四半期純利益	116,803	76,057
法人税、住民税及び事業税	30,758	22,542
法人税等調整額	1,718	△1,431
法人税等合計	32,476	21,110
四半期純利益	84,327	54,946
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,325	54,932

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	84,327	54,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△403
繰延ヘッジ損益	△2,993	2,485
為替換算調整勘定	△4,104	△65
その他の包括利益合計	△7,097	2,017
四半期包括利益	77,229	56,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,227	56,949
非支配株主に係る四半期包括利益	1	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月22日開催の第53期定時株主総会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を173,267千円減少し、その他資本剰余金に振り替えた後、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金の額を173,267千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間において、資本準備金が173,267千円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	55,677	24,000	978,923	40,776	406,700	1,506,078	—	1,506,078
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	55,677	24,000	978,923	40,776	406,700	1,506,078	—	1,506,078
セグメント利益又 は損失(△)	△3,535	23,972	56,602	3,983	84,403	165,426	△40,150	125,275

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△40,150千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	I T関連 事業	企業再生 再編事業	不動産賃貸 管理事業	食品関連 事業	ホテル関連 事業			
売上高								
外部顧客への 売上高	60,146	—	1,193,039	41,389	363,815	1,658,390	—	1,658,390
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	60,146	—	1,193,039	41,389	363,815	1,658,390	—	1,658,390
セグメント利益又 は損失(△)	358	△28	53,375	4,566	53,334	111,606	△44,123	67,483

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△44,123千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。